

第58回 稲吉 玲美さん (広島修道大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第58回目は、稲吉 玲美さんにご執筆いただきました。

月経随伴症状に対する心理学的アプローチ

月経随伴症状と聞くと、女性の身体の問題に対して医学的に対処することをイメージするかもしれませんが。しかし私は、この問題を生物学的要因のみではなく、心理学的要因、社会的要因およびそれらの相互作用からとらえる視点が、女性の社会進出や少子化対策など社会からの要請が多い現代女性が自分らしく生きていくために必要だと考えています。

私の研究では、「症状」という局所的なとらえ方ではなく「周期的変動」という全体性に着目し、症状があることによって日常的に抱く「心理的苦痛」を扱うことにより、女性が症状を持ちながらも月経周期に応じて自身を上手にマネジメントしていくための支援を検討してきました。今後も、臨床心理学の立場を活かして研究を発展させるとともに、得られた知見をささやかながらでも社会に還元できれば嬉しいと思っています。

稲吉 玲美 (Remi INAYOSHI)

【所属】 広島修道大学 健康科学部

【連絡先】 rinayosh@shudo-u.ac.jp

【HP】 <https://researchmap.jp/remiinayoshi/>